

You Tube
録画中継は
こちらから

工　藤　正　廣
（柊の会）

財政調整基金　今後の見込みは

令和13年度末に 18億5,000万円まで減少

問　令和９年度以降の５年間の財政調整基金残高の見込みは。

答　利率の上昇や学校・施設の大規模改修を見込んだ現在考えられる最も厳しい財政シミュレーションでは、基金残高は年々減少し、令和13年度末には、18億5,000万円となる見込みです。

年　度	財政調整基金残高
令和　９年度末	約41億5,000万円
令和10年度末	約37億2,000万円
令和11年度末	約30億2,000万円
令和12年度末	約23億6,000万円
令和13年度末	約18億5,000万円

問　ごみ減量化の取組は。

答　第５次ごみ減量行動計画に基づいた取組により、排出量は減少傾向にありますが、今後ごみ処理費の増加や新ごみ処理施設の整備も予定されているため、さらなるごみの減量及びリサイクルの推進が必要であり、新たに市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、令和17年度の１人１日あたりの排出量目標を833ｇに設定しました。生ごみ回収事業の拡充や紙ごみ資源化事業など、様々な取組を着実に進めます。

問　中央病院の周産期医療体制の整備予定は。

答　産科再開に向け弘前大学へ医師派遣を強く要望してきましたが、県全体の産科医不足や医師の偏在、働き方改革等の影響により複数名の常勤医確保は困難で、現時点で再開の見通しは立っていません。今年４月に弘前大学・県・県立中央病院の３者により弘前大学医学部附属病院に設置された「地域総合診療センター」の医師配置を調整する人事マネジメント機能や医師派遣調整機能に期待しており、県との連携を密にしながら、産科医の確保に引き続き努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

堰野端　展　雄
（黎明親和会）

令和７年度決算 市長はどう捉えるか

一定の成果はあるが より一層の財政規律に努める

問　令和７年度決算を市長はどう捉えているか。

答　国・県の交付金等を最大限活用するなど、財源確保を意識しながら、市民交流プラザ「トワーレ」の屋内遊戯施設整備や妊婦健康診査通院費等給付事業の増額、不妊治療応援事業等を実施しました。さらに市長として本格的に編成を行った令和８年度当初予算では、公約の一つである保育料無償化の実現を通じ、子育て世帯の負担軽減を図ることができたと認識しています。

また、課題となっている中央病院の経営改善についても、様々な取組を行った結果、令和６年度決算で約10億7,000万円あった純損失を、令和７年度決算では約１億6,000万円まで圧縮しましたが、資金不足比率の上昇や財政調整基金の残高減少も見込まれるため、一層の財政規律を保ち、政策実現に向けて取り組みます。

問　新教育長としての教育方針は。

答　教育行政のより一層の充実を図るため、１つ目として、20年後や30年後を見据えて学校の再編と適正化を行い、よりよい教育環境を提供することで多様な考え方に触れて、豊かに成長できる環境づくりを目指します。２つ目は、知識技能の習得や思考力、判断力などの育成に加え、自ら問いを立てて他者と対話しながら納得解を導き出す当事者意識を持った学びを重視します。３つ目は不登校支援であり、現在の施策に加え、不安や困難を抱える保護者自身を支える仕組みづくりに取り組みます。４つ目は、障がいの有無や国籍、貧困などの背景にかかわらず、全ての人が取り残されずに共に学んだり、体を動かしたり、文化や芸術を親しむことのできる教育行政の執行に努めます。